

教科	科目	単位数	年次	学科(コース)	区分	使用教科書
工業	実習	3	1	デザイン科	必修	デザイン実践 (実教出版)

1. 学習の到達目標

工業のデザインの見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、デザインの発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

デザイン分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

デザイン分野の技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づきデザインの技術の進展に対応し解決する力を養う。

デザイン分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、その発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2. 学習の評価

評価の観点 (重み)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	デザイン分野に関する課題の目的を理解し、解決に必要な知識と技術を身に付ける。	課題解決方法を考えながら発見し、的確な判断のもと進めながら表現することができる。	課題解決に向けて試行錯誤を繰り返しながら、協働的かつ主体的に粘り強く取り組むことができる。
評価の方法	課題の進捗状況 課題提出物	課題の進捗状況 課題提出物	課題への取り組み姿勢 合評会

2. 教科からのメッセージ

デザインの最も基礎・基本的な表現として、色やカタチを使った平面的な表現を習得するものです。デザインの作品は基本的に他者に意図する情報が伝わるかどうか、また、その評価によって成り立っています。わかりやすく、綺麗で丁寧な美しい仕事（技術）を効率よく作成できるよう技術を磨いて欲しいと思います。また、自身の表現したものを他者に伝えるための合評会も行います。デザインに不可欠なプレゼンテーション能力も習得して欲しいと思います。

4. 年間指導計画

4月 ～6月	ストライプと円の構成 ・各実習道具の特性や使い方を学びながら、丁寧な作図や塗りの技術を身に付ける ・計画通りに仕上げられるように主体的に取り組む
7月 ～9月	線から面を意識する構成 ・線と面の要素の組合せで効果的な構成ができるようになる ・基調色とアクセントカラーなど効果的な配色を実現させる ・丁寧に早く美しい作業ができるように主体的に取り組むことができる (合評会)
10月 ～12月	面の重なりのある構成 ・面の要素の組合せで、効果的な構成ができるようになる ・平塗りの技術を磨き、視認性を意識しながら表現することができる (合評会)
1月 ～3月	立体感のある構成 ・平面上に、空間や奥行きを意識した立体感のある構成ができるようになる ・平塗りの技術や視認性の向上に合わせ、立体感表現のための混色や明度差による表現ができるようになる (合評会)